

長野市復興だより ワン・ハート

ONE  HEART

長野市長に災害復旧記録集を贈呈



若穂地区防災研修会



災害の教訓を後世に残すために 『若穂地区災害復旧記録集』を制作

若穂地区
住民自治協議会
自主防災会連絡協議会

「台風災害の教訓として、地域にとって一番重要なことは、日常的な隣近所との連携だと感じました。お年寄りの一人暮らしや2世代世帯そして混住化社会の中で、改めてしっかりと体制を作り、災害に備える必要があります」と話したのは、若穂地区自主防災会連絡協議会の竹内守雄会長。令和元年東日本台風で千曲川とその支流の保科川・赤野田川が氾濫した若穂地区では227件の床上・床下浸水被害のほか、千曲川河川敷を中心に100ha以上の農地が水没・土砂や災害ゴミの堆積など甚大な被害を受けました。避難所の閉鎖後は、保科地区・綿内東町地区、川田地区の道路・河川・橋梁・山裾の復旧、千曲川河川敷の復旧・復興作業に住民をあげて取り組み、1年を経て保科地区の一部の道路・河川を除いては概ね復旧が完了しつつあります。

若穂地区には代表区長や自治区長で組織する自主防災会連絡協議会があり、被害状況の把握と対応、避難所の開設、避難及び呼び掛け等に対応しました。今回の被災を通して、(1)日常的なコミュニティづくりの重要

性、(2)災害危険情報のタイムリーな情報発信体制、(3)避難所のさらなる確保と運営ノウハウの確立が課題として浮き彫りになり、それらを踏まえて新たな災害情報連絡網の作成や訓練、避難所の増設など防災対策の見直しを図りました。今後は更に体制強化に取り組む計画です。また、長野市の復興支援金を活用し、地区の被害状況、復旧活動の記録を写真入りでまとめ、今後の防災対策と課題を示した『若穂地区災害復旧記録集』を制作。初版350部を各区長・防災指導員他関係者に配布しました。自主防災会連絡協議会では、この記録集を通して、「災害を風化させずに後世に伝え、地域コミュニティの育成と住民の防災意識の向上に役立ててもらいたい」と増刷を決定。希望者への限定販売も行います。

[INFORMATION]

若穂地区
住民自治協議会
長野市若穂綿内7827
TEL:026-282-4621

①雨水貯留施設災害復旧助成金の交付を開始します

令和元年東日本台風災害(令和元年10月12日以降)で被災し、これまでに長野市の助成金を利用し設置した雨水貯留施設(雨水タンク)が滅失・破損した場合、再度設置に掛かる購入費用のうち最大で4分の3を助成します。詳しくは河川課までお問い合わせください。

お問い合わせ先

河川課(TEL: 026-224-7646 e-mail:kasen@city.nagano.lg.jp)

②公費解体の申請受付期限の延長等について

令和元年東日本台風災害で被災し、全壊、大規模半壊または半壊と判定された家屋等の公費解体の申請受付期限を**令和3年5月28日(金)まで延長**します。なお、申請受付会場は、長野市役所第二庁舎の公費解体対策室のみとなります。公費解体の相談、申請受付の予約は、公費解体対策室へお願いします。また、災害廃棄物は引き続きアクアパル千曲仮置場へ搬入いただくか、個別回収をご利用ください。詳しくは廃棄物対策課へご相談ください。

お申し込み・お問い合わせ先

公費解体に関すること: 公費解体対策室(TEL: 026-224-9727)

災害廃棄物に関すること: 廃棄物対策課(TEL: 026-224-7320)

③融資を受けて住宅再建を行う方に対する補助制度のお知らせ

長野県では、被災した住宅の補修や、被災した住宅に代わる住宅の新築・購入に際して、住宅金融支援機構や民間金融機関からの融資を受ける方に対し、その利子相当額の一部を補助しています。

※災害復興住宅融資の貸付利率(団体信用生命保険に加入しない場合の利率、毎月変動)が補助対象部分となります。

対象となる方

住宅の建設・購入・補修に際して金融機関からの融資を受ける方
※準半壊、一部損壊の方は補修のみが対象となります。

補助額

以下の利子相当額を一括で補助します。

建設・購入 …………… 20年借入を想定した場合の当初10年分
補修 …………… 10年借入を想定した場合の当初5年分

補助額の試算

2,700万円を借り入れて
現地建替をする場合

補助額 1,109,483 円

1,200万円を借り入れて
補修をする場合

補助額 245,784 円

※令和3年2月時点での貸付利率(0.54%)で試算

申請期限

「金銭消費貸借契約の契約日の属する年度の3月31日」
又は「契約日から半年」のいずれか遅い日まで(令和3年度も事業継続予定)
※契約日が令和2年9月30日以前の場合、令和3年3月31日が申請期限となりますのでご注意ください。

対象融資

令和3年10月12日までに**申込を行った**住宅金融支援機構の災害復興住宅融資
令和3年10月12日までに**貸し付けを受けた**民間金融機関の融資

お申し込み・お問い合わせ先

長野県建設部建築住宅課(TEL: 026-235-7339) 又はお借入れの金融機関



生活支援相談員が皆さまのご自宅を訪問します

長野市生活支援・地域ささえあいセンターでは、生活支援相談員が皆さまがお住まいの仮設住宅等を巡回訪問し、被災された皆さまの孤立防止に向けた見守り及び、日常生活や今後の生活に向けたご相談に応じます。お問い合わせ、ご相談等がございましたらお気軽に下記までご連絡ください。随時訪問等も行います。



お申し込み・お問い合わせ先

社会福祉法人長野市社会福祉協議会 長野市生活支援・地域ささえあいセンター
〒380-0813 長野市大字鶴賀緑町1714-5 長野市ふれあい福祉センター2階
TEL: 026-219-5251
受付時間: 月～金(祝日・年末年始を除く)8:30~17:00



農業再生に向けて頑張る皆さん

農業政策課 (TEL: 026-224-5037)

被災からまもなく1年半が経過します。大勢のボランティアや事業者の皆さまのご協力をいただき、被災から半年後の令和2年4月には、農地へ流入した土砂の撤去がほぼ完了して営農の再開が可能となりました。また、国・県・市の支援制度を活用し、被災した農業用機械の再取得、農業用施設の再建が進み、今年度末には完了の見込みとなりました。被災から二度目の春を迎え、農業者の皆さまが「農業再生」を目指して頑張っています。この度、頑張る二組の若手農家に復興へ向かう現状を伺いました。

地域の話に耳を傾け地域活性化に協力

赤沼地区 小林俊夫 さん(32歳)

新幹線車両基地近くのリンゴ圃場が、4m以上浸水し、35本のリンゴの木の枝が折れ、収穫は皆無になりました。被災直後は、親戚にリンゴ収穫用木箱の洗浄作業を助けてもらいながら、現在1.7ヘクタールのリンゴを生産していますが、近所では、荒れ始めた畑もあることを心配しています。地域のいろんな人が関わって課題を克服し、地域を元気にしていければと思うとともに、それが自分のためにもなると頑張ってやっていきたいと考えています。



兄弟で力を合わせて

赤沼地区 田中宏樹 さん(30歳)・克樹 さん(30歳)

5年前、父が倒れたのをきっかけに、実家のリンゴ農家を継ぐため、二人で東京と愛知からUターンしました。栽培面積をUターン前の2倍の3ヘクタールに拡大した頃、台風災害に見舞われ、リンゴを取り入れる土壁倉庫は2m30cm浸水しました。被災した農業用機械、倉庫やビニールハウスは、支援制度を活用して再取得・再建ができ、長沼の同世代の若者も頑張っているの、リンゴ栽培で地域を活性化できればと思います。





食を通して地域を元気づけたい

チームH(アッシュ) 副代表

星野良和さん

令和元年東日本台風の災害直後から被災地に入り、主に食を通じた支援活動を行ってきた星野さんは、夫婦でボランティア活動をする傍ら、被災地の店舗を修復し、2021年2月に焼肉料理店を開店。その経緯と思いを伺いました。

約4万食の炊き出し救援

災害があった2019年10月13日に北部レクリエーションパークでの炊き出しに駆け付けました。避難所で家のことやこれからのことが心配で泣いている方も、私たちの作った温かい料理を食べている時だけは笑顔になってくれるので、できるだけことはしてあげたいという思いが募りました。10月20日に仲間とともに炊き出し救援チーム“Hundred Hands (ハンドレッドハンズ)”を結成し、お弁当作りを始めました。管理栄養士である妻が被災者の健康に配慮した栄養満点の献立を考案。当初は材料などほとんどが自前でしたが、次第にお米や食材などの救援物資を頂けるようになり、心温かいボランティアの方からのカンパで、お箸やパック代なども賄えるようになりました。その後12月28日まで合計で約4万食を作り続けられたのは、ボランティアの皆さんの支援と家族の協力のおかげだと思います。



被災者の皆さんに一番人気だった唐揚げ弁当。唐揚げは現地で揚げたてを提供した

チームアッシュとしての活動

Hundred Handsの一員でもある宮腰貴洋さん(上写真左)が2020年1月に新たなボランティア組織“チームH(アッシュ)”を設立し、私たちも



太田神社(赤沼)で開催した野外上映会

様々なボランティア団体と連携しながら支援活動を行ってきました。私自身は、7年前に妻の実家である信州新町に移住し、名物のジンギスカンを焼きそばの上に乗せた“ジンめん”を移動販売車で販売していたのですが、災害以降は祭事やイベントが激減し、コロナの影響もあって店は休業してボランティアに専念してきました。阪神大震災や東日本大震災の時もボランティアをしましたが、こんなに長くボランティアを続けたのは初めてです。被災地の子どもたちのために野外上映会“ドライブインシアター”を開催した際は、多くの子どもたちの笑顔を見ることができ、大変やりがいを感じました。

住民の皆さんが気軽に立ち寄れる店を

ボランティア活動を通じ、住民の皆さんと話す中で、災害でカラオケ酒場もなくなり、お酒

を飲める場所がないとか、PTAや消防の集まりの後に会食する場所がないという声が聞こえて来ました。そんな折、炊き出しの際に会場(駐車場)をお借りしたラーメン店のオーナーが被災した店舗を公費解体するか悩んでいると聞き、それなら自分たちが直し、長沼地区の町おこしの拠点、ボランティアの拠点になるようなお店を作ろうと、宮腰さんの賛同も得て開店準備を進めることにしました。



メニューは、長沼産のりんごのタレで漬け込んだ信州新町のジンギスカン。両地域のPRになればと思っています。ランチには炊き出しの際に一番人気だった唐揚げなど救援メニューも提供予定です。家族とともにこの地に引越すことも決めました。これからは住民の一人として、食を通して、町おこしに貢献したいと思っています。

焼肉ジンギスカンもんも

長野市穂保679 TEL. 026-217-5176
営業時間 11:30~14:30(L.O.14:00)、17:30~22:00(L.O.21:30)



長野市復興だより ワン・ハート

ONE HEART

Issue 09 令和3年2月 【発行】長野市企画政策部復興局復興推進課
電話:026-224-9728 e-mail:fukko@city.nagano.lg.jp
詳しい情報、市からのお知らせは、右記のURLからご確認願います。URL:https://www.city.nagano.nagano.jp/

R70
古紙配合率70%以上の再生紙を使用しています